

□ 要請番号 (JL46920A04)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モロッコ	H114 理学療法士		個別	新規	2年	・ 2020/2 ・ 2020/3 ・ 2021/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

外務協力省

2) 配属機関名 (日本語)

児童保護モロッコ連盟
NGO

3) 任地 (ラバト県ラバト市) JICA事務所の所在地 (ラバト)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

1957年に創設されたモロッコ初のNGOで、モロッコ王室が後援し初代連盟長は国王の叔母、現在の連盟長は国王の従妹にあたる。孤児、家庭内で問題があり家庭で育てられない子どもの保護・養育や養子縁組斡旋、また児童養育困難者への支援(保育園等)を行っている。具体的には、全国の養育施設8ヶ所、保育園77ヶ所などを運営する。約600名(うち90名が障害がある)の養育、2000名の保育園受入れを実施(2014年データ)。本要請と同時に障害者支援隊員を2名募集中であり、連携することが期待されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

連盟は養育の質の向上、職員的能力向上およびそれによる業務効率化を目指している。職員の業務改善、業務枠を広げることに貢献し、職員らがより効率的に働けるよう、知識共有を希望して要請があった。職場となるラメラリアムセンターは約130名の子ども(原則として0～18歳)を養育し、食事・住居の提供、学齢期の児童は近所の学校に通学させている。障害がある者は63名(4歳～41歳/成人になっても他の受入れ先がなく当施設に滞在)で、そのうち身体障害者が28名いる(2018年5月現在)。重複障害がある者もいる。日中は医療スタッフが常駐。言語障害改善士、理学療法士2名が勤務する。物資や人員にはとても恵まれた環境である。KOICA隊員(理学療法士)2名の受入れ実績がある(2016年頃)。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

連盟の一施設である首都のラメラリアムセンターにて、以下の活動をする。

- 理学療法士の同僚へ、日本での考え方や方法の紹介をする。
- 身体障害者(肢体不自由、重複障害がある人も含む)への理学療法の実施。
- 具体的には青年および成人(10～40代)の運動能力改善支援(基本動作練習や離床の促進)。多くの時間をベッドで過ごしているが、車いすに座れる方も多くいる。
- 生活介助員の同僚へ、簡単にできる運動能力改善支援方法があれば紹介する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

理学療法室

4) 配属先同僚及び活動対象者

理学療法士2名(50代女性1名、他1名)
センター校長(40代、女性)
医師(一般医4名、小児科医1名)、看護師7名
言語聴覚士(1名)

生活介助員(約20名)、教員(女性 3名)

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
フランス語	アラビア語	英語(レベル:B)又はフランス語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：(理学療法士)	[学歴]：() 備考：
[性別]：() 備考：	[経験]：(実務経験) 5年以上 備考：同僚の実務経験が長い

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(地中海性気候) 気温：(5～35℃位)	[電気]：(安定)
[通信]：(インターネット可)	[水道]：(安定)

【特記事項】

施設・物資やスタッフ人数には大変恵まれた環境。一職員として働くとともに、同僚や生活介助員とコミュニケーションを取り、現地の状況を踏まえた上で、日本の方法やその必要性を説明する。